詫間中学校学校通信
浦島伝説
平成23年1月27日
第 40 号

走ることのススメ

１月２、３日、“正月名物”箱根駅伝があり、今年も数多くのドラマが生まれました。優勝した早稲田大学と、３連覇を狙った２位の東洋大学との差はわずか２１秒差。優勝と準優勝のタイム差としては史上最小でした。また、シード権争いも激しく、１１位の城西大学はわずか３秒差でシード権を逃しました。１０位国学院大学のアンカーが、ゴール直前でコースを間違えるハプニングもあり、ハラハラドキドキしました。

１月２１日には、アースマラソンに挑戦していた間寛平さんが、出発から約２年１か月、４万キロを超える壮大なレースのフィナーレを迎えました。ゴールした瞬間の第一声は、「ありがとう！ただいま帰って来ました！俺は本当に幸せモンや！アーメマー！」。走れることへの感謝の気持ちが表れています。

詫間中学校のグラウンドでも、体育の時間にマラソンをする生徒の姿があります。箱根駅伝やアースマラソンに比べたら距離は短いですが、自分の限界に挑戦するということに変わりはありません。また、３年生は、「高校入試」という名のマラソンレースにおいて、今まさにラストスパートをかけているところです。「合格」というゴールテープを切る瞬間の自分の姿を思い浮かべれば、残された日々もがんばれるはずです。

「走る」という行為から、学ぶことはたくさんあります。「走る」ことに関する名言もたくさんあります。『人生はマラソンのような長距離競争である。一気に駆け抜けようとすると落伍することになる。急ぐべからず、焦るべからず』（大屋晋三）。『人生とは自転車のようなものだ。倒れないようにするには走り続けなければならない』（アインシュタイン）。『長距離走において勝つべき相手がいるとすれば、それは過去の自分自身である』（村上春樹）。『夢来 ～輝ける場所へ全力疾走～ 』（詫間中学校生徒会スローガン）・・・！

連 載　A教頭の「走ることのススメ」① ～昭和の時代～

マラソンは、長い道のりを自分の力だけを頼りに走らなければならない。持久力だけでなく、強い精神力が要求される種目である。苦しくて途中で立ち止まっても誰にも迷惑はかからない。でもその時に、弱い自分に「がんばれ」と元気づけて歯をくいしばって走る強い自分が存在するかどうかである。人はその強い自分を見つけるために、苦しさの中に飛び込んでいく。そして、その自分に出会った時、つまり苦しさを乗り越えて走りきった時に、満足感を味わうことができる。それは、タイムや順位じゃなく、ゴールインした時の気持ちである。そのさわやかな気持ちを味わえた人こそが真の勝利者である。かつて流行語大賞にも選ばれた女子マラソン有森裕子選手の「自分で自分をほめたい」とは、まさにこのことだろう。

私はそのマラソンが大好きだった。小学校５年生まで、マラソン大会はずっと３位だった。ゴールの時に湧き上がる拍手と歓声がうれしかった。ところが、６年生の大会で９位になりショックを受けた。そして、中学校１年生のマラソン大会では、６０～７０位くらいだった。ゴールインする瞬間のうれしさも忘れかけていた。

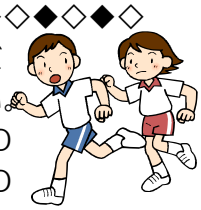
しかし、中学校最後のマラソン大会では、再び感動の瞬間を味わいたかった。そこで、大会１か月前から、朝６時に起きて走り込みをした。おかげで１２０人中１１位という好成績を残すことができた。高校の時もそうだった。やはり毎朝走り込みを続け、２１５人中３０位という素晴らしい成績だった。ゴール寸前のラストスパートでバスケットボール部のキャプテンを抜いた光景は、今だにはっきりと覚えている。何の部活動にも入っていない自分が、運動部に所属して鍛えている人に立ち向かうには、こうするしか方法がないと思ったからであった。決してあきらめようとは思わなかった。小さな体でも大きな人には負けないところを見せたかった。

中学校教員になってからも、「走る」ことを通して、たくさんの経験をすることができた。昭和６３年には、当時担任していた３年生のクラスでチームを組んで、町内で開催された駅伝大会に出場した。そして、その勢いで高校入試という大きな壁も突破することができた。

時代が“平成”に変わっても、走りたいという気持ちだけは変わらなかった。平成元年には先生方でチームを作って駅伝大会に出場し、一般の部で準優勝した。来年こそは優勝という新たな目標ができた。ところが、翌年の大会を前に、思いがけないアクシデントが起こったのである。　（つづく）

◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇ ご　案　内 ◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇

校内マラソン大会が下の日程で行われます。ぜひとも、生徒たちの練習の成果をご覧ください。なお、校門付近はコースになっていますので、お車は体育館駐車場にお止めください。



■１年生：１月３１日（月）２校時　女子スタート → 9:45、男子スタート → １0:00
■２年生：２月　３日（木）２校時　女子スタート → 9:45、男子スタート → １0:00